

時期が遅くなりましたが、保護者、地域の皆様におかれましては、ご家族で新しい年を迎えられたことと思います。今年一年が良い年になりますようにお祈りいたします。

新年を迎えるとともに3学期がスタートし、美星小学校にも子どもたちの元気な声と笑顔がもどってきました。一人一人の子どもたちに温かさと厳しさをもって接し、引き続き、教育活動を進めてまいりたいと思います。今年もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今年はいざなぎ年です。干支で言うと「癸卯(みずのとう)」となり、「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるそうです。コロナ禍が続いていますが、あきらめることなく、新たな成長を目指す一年にしたいと思います。

「当たり前を積み重ねると特別になる」

始業式で、「当たり前を積み重ねると特別になる」という言葉について話をしました。日本を代表するケーキ職人の方の言葉です。

そのケーキ職人が、フランスの有名店で見つけたおいしいケーキ作りの秘密は、「焼き時間を守る」、「材料の量を守る」、「材料の大きさをそろえる」、「傷んだ材料は使わない」など、当たり前のことを徹底してやり続けることでした。杉野さんは、「当たり前を積み重ねると特別になる」と思いました。それから、当たり前の作業を徹底してやり続け、日本を代表するケーキ職人になりました。

という内容です。

「気持ちのよいあいさつをする。」「靴をきちんとそろえる。」「そうじを一生懸命にする。」「廊下を走らない。」など、当たり前のこと（一回するのはそれほど難しくないこと）を積み重ねて、子どもたち一人一人が成長してほしいと思います。その当たり前を積み重ねることができるよう、私たち大人が、子どもたちが取り組んでいることを当たり前ととらえず、しっかり見守り、認め続けていくことが大切だと考えます。

A n c s（アックス）プログラム 6年生 1月18日（水）

A n c s プログラムは、6年生を対象とした井原市の事業です。地域の方を招いて、その方の生き方や考えを聞き、自分のよさとはなにか、今後どうしたいかを考えていく内容です。

今年度は、養鶏会社の方に来ていただきました。サッカーを通して学んだことやコロナ禍への対応など、丁寧に話してくださいました。また、生きていく上で大切なこととして「元気にあいさつをすること」「仲間を大事にすること」「苦しい経験もプラスにとらえること」と伝えてくださいました。子供たちは、お話を聞くことと友達との話合いを通して、自分のよさや将来についてしっかり考えることができました。



井原放送見学 5年生 1月20日（木）

5年生の児童が放送局を見学させていただきました。中継車の中に入れていただき、たくさんの機材があることに驚いていました。一人ずつ、実際にアナウンサーの体験をさせていただきました。「こんにちは。ニュースの時間です。〇〇がお伝えします。」短い言葉でしたが、どの児童も緊張していたようです。その後、質問に丁寧に答えていただきました。社会科の学習にしっかり役立てたいと思います。



業間マラソン、始まりました！

業間マラソンに取り組んでいます。感染症対策のため、1・3・5年生と2・4・6年生に分かれて、それぞれ3回ずつ行います。走らない学年は縄跳びをしています。幼稚園児も1回参加する予定です。それぞれの体力に合わせて、無理のない速さで走るようにしています。体力を高めることと併せて、運動する習慣を身に付けてほしいと考えています。

また、運営委員会と保健運動委員会が協力して「外遊びプロジェクト」を行います。寒さに負けず、しっかり外遊びを楽しんでほしいと思います。



寒い日が続いています。

年度初めに配布しました「非常時（警報・大雪等）の登下校について」で、次のようにお知らせしています。ご確認ください。

- ・ 午前7時の時点で、井原市に特別警報（大雨・大雪・暴風・暴風雪）・警報（大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪）のいずれかが発表されている場合は、「臨時休業」とします。メール配信はしません。テレビ等でご確認ください。臨時休業の次の日は、どの学年も登校する日（曜日）の時間割を用意して登校させてください。
- ・ 警報は出ていないが、大雪等で「臨時休業」の場合は、メール配信します。

また、年度初めに配布しました「美星小よい子の暮らし」で、寒い時期の服装について次のようにお知らせしています。体調や気温等に合わせた服装にご配慮ください。

- ・ 登下校時には協定服の上に派手でない色のジャンパーを着てもかまわない。
- ・ セーターやベスト（黒や紺）を着てもよい。
- ・ 黒または紺の長ズボンをはいてもよい。
- ・ 手袋・マフラー等はつけてもかまわない。